

## 令和5年度 第2回学校運営協議会報告

1 日 時 令和5年10月18日(水) 午後1時30分から午後3時まで

2 会 場 藤枝特別支援学校焼津分校 相談室

3 参加者

(1) 学校運営協議会委員(氏名50音順)

特定非営利活動法人 焼津育成の会 野いちご 監事

株式会社 吉村 商品物流部 商品管理課 課長

ほりお小児科医院 院長

焼津分校 PTA会長(欠席)

(2) 本校職員

校長、副校長、事務長、部主事、教務主任、生徒指導課長、保健体育課長

4 会議次第

(1) 開会

(2) 前期の学校・学部経営に関する取組報告

(3) 「学校安全(防災)」に関する協議(説明、校内参観・安全点検、協議)

(4) 保健指導に関すること

(5) 閉会(諸連絡)

5 会議内容

(1) 開会

ア 校長挨拶

- ・本日は1学期の実践、2学期が始まってからの学校の様子を見てほしい。
- ・本年度、学校案内を作成した。多くの人に学校のことを知ってほしい、特徴的な学習の場面を発信したい、生徒の輝いている姿を見てほしい、という思いで作ったもの。

イ 日程説明

(2) 前期の学校・学部経営に関する取組報告

ア 学校経営〈中間報告〉

- ・安全安心の柱のキーワードは人権意識、主体者、多様性。チェックシート、アンケート、授業等で、日々の実践や意識の振り返りをして迅速な対応に努めている。
- ・「生徒が主体者として行動できる力を高めるための授業づくり」を研究のテーマにして、助言者の指導助言をいただいて授業改善を行っている。また、専門性を高める研修も、教員のニーズに基づいて行っている。
- ・水産高校との共生・共育の取組もコロナ禍前に戻り、「授業交流」「海図手提げ袋の製作」等、計画に沿って行われている。生徒と担任との面談(以下キャリア面談)により生徒が授業や生活の目標を自分ごととして意識するようになった。これが、個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成・活用に繋がっている。

イ 学部経営に関する取組

- ・全体的にポジティブな評価が多い。

- ・キャリア面談で担任と生徒が個別に話をする中で、生徒は自分の目標を明確にすることができ、教員は生徒を肯定的に捉える良い機会となっている。

- ・夏以降、教員が1名増えたことで授業時間数の平準化ができた。

ウ 前回の学校運営協議会での協議を受けて

- ・「一年の目標を立てる、自分の意見を言える環境づくり」等に関しては、キャリア面談を通して実現し、担任も手ごたえを感じている。

- ・「気持ちの伝え合い」に関することでは、授業や部活動でのミーティングを生徒主体で行ったり、スマイルの木（生徒会本部が取り組んでいる友達や学校のいいところ、ハッピーエピソードの掲示）での伝え合いをしたりしている。また、職員は朝の打ち合わせに気構えずにスピーチする時間を設け、自分の見方や考え方を伝えたり、ハッピーなエピソードを分かち合ったりしている。

- ・その他、生徒が主体者として頑張っていることについて写真を交えて紹介した。

→以上の報告に対して「職員が笑って生徒と関わるのには、働き方改革が必要だと思うが、働き方改革は進んでいるか」という質問が出された。

→月 45 時間以上超過勤務者は年度当初より減っている。超過勤務の原因を分析し、声掛けをしたり仕事の分担の見直しをしたりしている。

### (3) 「学校安全（防災）」に関する協議（説明、校内参観・安全点検、協議）

ア 趣旨説明

- ・8月に「学校安全の推進に関する実態調査」を行い、校内での取組を見直した。安全点検に外部人材が参加していないこともあり、今回の校内参観で外部人材の目で見たい要修理箇所や危険箇所を点検していただきたい。

イ 校内参観・安全点検

- ・生徒の授業を参観しながら、教室、作業室、保健室等の状況を確認し、気づいたことを付箋に書いていただいた。

ウ 協議

- ・要修理箇所や危険箇所について記入した付箋を、「緊急度・必要性の高さ」「対策にかかる経費」を観点にマトリックスに示しながら協議を行った。

#### 【家具等の固定に関すること】

- ・腰丈のロッカー、水槽、パーテーション、ロッカーの上のファイル、本棚、キャスター付きホワイトボードなどが固定されていない。

→L字金具やチェーンをつけて動かないようにしたり、転倒防止安定剤を置いたりすると良い。

キャスター付きの備品に関しては、ロープで固定しておく工夫が必要。

#### 【備品等の多さと管理に関すること】

- ・廊下、ロッカーの上に多くの物が置かれている。

→備品等の他の場所へ動かす。動かす場所がないなら、不要な物を捨てるが良い。

- ・作業室の工具置き場は籠で整頓されているが、落下の恐れがある。

→工具置き場にはカーテンを付けたり、籠に蓋をしたりして落下時の飛散を防ぐと良い。

### 【その他の御意見】

- ・教員用のヘルメットは人数分、すぐ出せるところに置くと良い。
  - ・心の安全のためにも保健室がとても大切。生徒にとって、ほっこりした居場所になっていると感じた。
- ➡御指摘いただいた要修理箇所、危険個所のうち、緊急度や必要性が高いもの、費用がかからず迅速に対応できるものから取り組んでいく。難しいことは、次年度以降に計画的に行う。

#### (4) 保健指導に関すること

##### ア 教員研修について

- ・昨年度、本年度と2年連続で静岡大学教職センター准教授・松尾由希子氏を招き、「性の多様性の基本的な知識と学校現場での対応」「性の多様性をふまえた生徒対応について」の研修を実施。

##### イ 性の多様性に関する授業実践と生徒の感想

- ・高等部3年道徳、2年保健の授業で実践。「友達と関わるときに、相手の気持ちを考えて行動することが大事」「差別なく、みんな平等で思いやりながら生きていったほうがいい」などの感想が得られた。

→性の多様性の指導だけでなく、性教育もしっかりと実施してほしい。

LGBTの生徒の実習受け入れにあたりは配慮をいろいろと考えるだろうが、現場は案外「ただ一緒に働けばいいこと」と自然に受けるだろうと思われる。企業としても学びの機会として捉えるとよい。

#### (5) 閉会（諸連絡）

- ・次回の学校運営協議会開催日を確認。

平成6年2月7日（水）午後1時30分から午後3時まで。